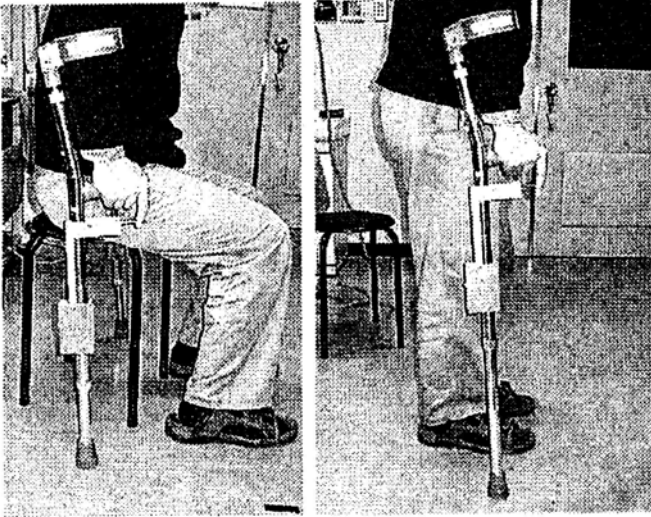


茨城大発の事業組合

茨城大工学部の森善一准教授らが設立した有限責任事業組合(LLP)あっと・コミュニケーションズ(茨城県日立市)は年内をめどに、福祉用具のアイデア商品を発売する。第一弾として、森准教授の研究室で開発した伸縮式の杖(つえ)を扱う。高齢化社会を迎え、使い勝手の良い福祉用具の需要は大きく膨らむとみて、病院や老人保健施設などに売り込む。

創意工夫の福祉用具発売



レバー操作でつなぎ目から先の部分が簡単に伸びる＝写真右。短くする場合は杖の先を地面に押し当てる

年内まず伸縮式杖

新製品の伸縮杖は電動機製造の大和電機製作所(茨城県日立市)と共同開発した。グリップから地面までの長さを二段階(七十五センチと五十八センチ)に変えられるのが特徴。ステンレス製でグリップの約八センチにレバーを取り付けた。レバーを引くと杖のつなぎ目の固定部分が外れ、つなぎ目から先の部分が簡単に伸びる。短くする場合は杖の先を地面に押し当てる。特許を出願中。

杖が伸びた状態だと、いすやベッドから起立するには長すぎて扱いにくい。杖を短くして立ち上がり、歩く際に長くすることで、起立から歩行までの動作がスムーズになる。これまでの伸縮杖は、手で杖を伸ばしたり縮めたりする必要があり、杖で立った状態では操作しにくかった。新製品はグリップを握ったままレバーを操作できるので、立った状態でも伸縮させやすい。

茨城県は二〇〇七年の毎月勤労統計調査地方調査年報をまとめた。五人以上の事業所の労働者一人当たりの平均現金給与総額は、前年比〇・六%増の月額三十二万六千五百円。二年ぶりの増加で、伸び率は全国平均(〇・七%減)を上回った。就業形態別にみると、一般労働者の二・六%増に対しパートタイムは一・〇%増と、上昇率に差が出た。給与の内訳は、毎月決

すい。予定価格は一本一万一千五百円。森准教授は福祉機器・ロボットの研究が専門。比較的安価な福祉用具の開発を目的に二〇〇七年

県内平均給与0.6%増

昨年 伸び率、全国平均上回る

一月にLLPを設立した。段差を乗り越える機能がある車いすも開発中で、一〇年の発売を目指している。

茨城県は二〇〇七年の毎月勤労統計調査地方調査年報をまとめた。五人以上の事業所の労働者一人当たりの平均現金給与総額は、前年比〇・六%増の月額三十二万六千五百円。二年ぶりの増加で、伸び率は全国平均(〇・七%減)を上回った。就業形態別にみると、一般労働者の二・六%増に対しパートタイムは一・〇%増と、上昇率に差が出た。給与の内訳は、毎月決

毎月決まって払われる給与のうち所定内給与は二十四万三千四十三円で〇・九%増。残業手当などの所定外給与は二万六

集を発行

茨城県は十
ネに取り組む
った。省エネ事
省エネ施設の
効果、投資回